

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	地域文化振興事業費	担当課	教育課
事業内容(簡潔に)	市民の芸術文化活動を推進し、地域文化の創造と発信を図る		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり
	政策	誰もが「生きる」喜びを感じるまちづくり
	施策	文化・芸術の振興
関連する個別計画等		根拠条例等

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人ひとりが、自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の理念に基づき男女共学の学びの場としてライフカレッジを開設する。</li> <li>市民の文化意識の高揚と地域文化の発展を図る。</li> </ul>
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第3木曜日に開催。午前中はクラブ活動（書道・俳句・料理など）を行い、午後は講師を招き、講演会を実施。</li> <li>ライフカレッジの運営は、学生で構成される運営委員会で協議決定する。</li> <li>自主企画事業「武田の里吹奏楽フェスティバル」や「武田の里音楽祭」を実施。</li> </ul>
事業の対象	市民及び市外在住者

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	28,098	32,803	29,507
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	28,098	32,803	29,507
B	担当職員数(職員E) (人)	0.2	0.2	0.2
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,343	1,315	1,317
D	総事業費(A+C) (千円)	29,441	34,118	30,824
主な事業費用の説明	武田の里文化振興協会が行う事業に要する経費に対する補助を行う。 平成29年4月より市文化協会及びライフカレッジ事務局を武田の里文化振興協会へ移管。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 ライフカレッジ学生数	学生数(人)	914	326	466
	2 ライフカレッジ受講者数 (移動学習を除く)	延べ受講人数(人)	7,390	1,474	2,198
	3 地域芸術振興・普及育成事業入場者数	延べ入場者数(人)	5,281	1,369	1,195
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から受講者の上限を設定した。(500名)			
	2	令和2・3年度は受講者の上限を設定したこともあり、受講人数は減少した。			
	3	例年開催している美術展等が新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止したことで、元年度後半より入場者数が減少している。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	ライフカレッジ受講者満足度 満足と回答した数/回答者数 (%) 91人 /162人	66.6	60.3	56.1
	2	地域芸術振興普及育成事業 入場率 入場者数/定員 (%) 1,195人 /1,345人	83.9	85.2	88.8
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	毎年学生に対しアンケートを実施。来期講師の希望などを聞き、翌年度の運営などに反映させている。(R2, 3は、コロナ禍において講座が中止や延期を余儀なくされ満足度が下がったと推測される。)			
	2	武田の里音楽祭や吹奏楽フェスティバルは定着した好評な事業であることから、高い入場率をキープしているが、内容がマンネリ化しないよう感染症拡大防止対策を含め工夫していく必要である。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) ・毎年ライフカレッジ事務局として、学生に対し講師やクラブ活動についてアンケートを行っているため、アンケート結果を踏まえた公演やクラブ活動を計画していく。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入学者数を制限するなど対策に努めていく。 なお、自主企画事業として市内の芸術活動をしている団体に対し、感染症拡大防止対策を行い、発表の場を提供していく。 ・ライフカレッジの講座にオンライン配信などコロナ禍における新たな開催方法をさらに推進するなど、模索・検討を行う。 ・(一財)武田の里文化振興協会の事務局を市教育課内に移転した。(7月1日)			
改善の経過	・平成20年から、これまでの婦人大学から「武田の里ライフカレッジ」と名称変更し男女共学とした。 また、入学金を4,000円⇒5,000円に変更。 ・平成27年から、子育て世代にも受講しやすいよう託児サービスを開始。また、手話通訳者のサービスも始めた。 ・平成29年から、市文化協会及びライフカレッジ事務局を武田の里文化振興協会へ移管し、ライフカレッジの入学金は市内「5,000円」、市外「6,000円」に変更。 ・令和3年度から、オンライン配信を実施。			
直近の評価結果	内部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の改善案	入学金は学生一律5千円で運営してきたが、市外学生との間に差を設けている。また運営委員について、市外を2名に増やした。		
	外部評価	令和2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	
	評価時の対応	令和2年度は合唱を伴う音楽祭等事業の大半が中止となり、ライフカレッジも募集人員を減らし7月から開講したが、次年度はオンライン開催を含め、感染症対策を徹底して多くの事業が行えるよう取り組んでいく。		
課長所見	教育課内に事務局を移転した(一財)武田の里文化振興協会と連携し、生涯学習担当や中央公民館と一体となった生涯学習・地域文化芸術活動を推進していく必要がある。			